

白河高校図書館における読書活動推進へ向けた取組

1 学校の概要

- 1 住所 福島県白河市南登り町54番地
- 2 学級数 18クラス 生徒数 701名 (令和4年5月1日現在)
- 3 学校図書館の蔵書数 32,913冊 (令和4年5月1日現在)

2 読書活動推進へ向けた取組

(1) 掲示や展示

- テーマ展示コーナーを定期的に入れ替え、生徒や先生方にもよく利用されている。また、図書館だよりや図書館報で紹介された本のコーナーを設けると共に、映像化コーナーをカウンターに常設し、話題の映画やドラマの原作・関連本を紹介して興味を引くよう工夫している。
- 図書委員が月に1枚POPを作成し、「図書委員のおすすめの本」として展示している。人気が高いコーナーで、ここから借りていく生徒も多い。



「夜の本」



「沖縄慰霊の日」



「開運招福」



図書委員おすすめ本POPコーナー



新着図書・「図書館だよりの本」

- 進路コーナー・小論文コーナーの設置
進路を考えるための職業紹介本コーナーを設置している。また、小論文コーナーとして出題が予想されるテーマの図書、大学入試で出題された図書、小論文の本などを充実させ、生徒の進路実現に役立っている。平成29年度より「白河高校小論文ブックリスト」(A3両面1枚)を作成しており、今年度は館内に設置するとともに、3年生担任や希望者に配布した。
- 昇降口近くの掲示板に「図書館だより」と新着図書のカラーコピーを掲示し、新刊情報を提供している。

- (2) 月1回の「図書館だより」発行
 生徒による図書の推薦、書籍や図書館に関する情報提供、新着図書案内などを行っている。「図書館だより」を手にしながらか本を探しに来る生徒や先生もいる。図書館入口には「図書館だよりで紹介された本」コーナーを設けている。
- (3) 年1回の「図書館報」発行
 生徒や教師からの寄稿、生徒の作品、各種統計などを掲載し、読書活動の一助としている。今年度は「創立百周年記念号」と銘打ち、図書委員が作成に奮闘した。発行後は「図書館報で紹介された本」コーナーを作り、貸出につなげたい。
- (4) 教科・学年との連携
 1年生の地理総合、現代の国語、1・2年生の総合的な探究の時間、3年生の総合的な学習での理数科・課題研究などで活用されている。また、長期貸出、読書週間等には先生方からの声かけもお願いし、生徒が図書館に足を運ぶ機会を増やすよう協力を仰いでいる。
- (5) 公共図書館、他校図書館との連携
 資料の不足を補うため、公共図書館や他校図書館とも相互貸借を行っている。購入まで時間を待てない場合や、絶版で入手困難な資料などの相互貸借が多い。また、県南司書研修会会員校（データベースが構築されている学校のみ）の蔵書データを総合目録にまとめて配布し、会員校同士で相互貸借を行っている。
- (6) 新入生オリエンテーション
 読書の楽しさや図書館利用方法を伝え、生徒ができるだけ早く図書館になじめるよう入学後すぐに実施している。今年度もコロナ対策で密にならないようクラスずつ実施した。また、調べ学習などの際も要請があれば「図書館での調べ方」や「参考文献の扱い方」などについてオリエンテーションを実施している。
- (7) 読書週間
 図書委員がポスターを作成し、教室や図書館、昇降口に掲示するとともにクラスでのPRも行っている。また、今年度は県南高等学校図書館研究会で共有した他校生作成のPOPを本校生のものと一緒に掲示し、貸出を促す役割を果たした。
- (8) 「ビブリオバトル福島県大会」への参加
 「ビブリオバトル福島県大会（中通り予選会）」への参加者を募り、今年度は1年生1名が夏休みにも練習を重ねて出場し、熱心な発表を行った。
- (9) 校内ビブリオバトル開催
 図書委員会主催で「校内ビブリオバトル」を行っている。3回目となる今年度は、読書週間期間に開催した。図書委員が企画段階から当日の運営まで積極的に携わり、参加者は過去最高の49人となった。感想として「読みたくなった」「発表が上手で驚いた」という声があがるなど、生徒、先生方ともに好評で貸出にも貢献した。
- (10) リクエスト制度
 リクエスト用紙を用意し、気軽にリクエストできるようにしている。また、司書研修会作成の「おすすめブックリスト」も展示し、生徒のリクエストを促している。
- (11) 新型コロナウイルス感染症の対策
 感染予防のため座席数を削減。座席およびカウンターにはパーテーションを設置し、生徒が安全に図書館を利用できるよう対策を講じている。



地理総合の授業



読書週間ポスター



校内ビブリオバトル